



鶴岡市立朝陽第二小学校
学校だより No.4
令和8年6月29日
TEL 22-7755
【朝二小教育の心】
「好きにする よさを伸ばす」

学校教育目標 「たくましく思いやりがありしなやかな子どもの育成」

誰もが安心して楽しい学校をめざして

日ごろから保護者の皆様、地域の方々に見守られて、毎日、朝陽二小の子ども達が学校生活を送れることに、心より感謝申し上げます。

先日、学校では、国や県の方針に基づき、児童と保護者を対象にいじめアンケートを実施しました。その中で、お寄せいただいた事案、また、最近、校内であった事案から、今一度、全員が安心して楽しく学校生活を送るためにも、「いじめ」は絶対に許されないことを再確認する必要があると判断しました。

そこで、6月23日の朝、臨時に全校朝会を開き、校長講話を行いました。内容については、お子さんから話を聞いたことと思いますが、いじめで受けた心の傷は治らないこと、自分はいじめと認めていなくても、相手が嫌な思いをすればいじめであること、自分のイライラから相手の気持ちも考えず、衝動的に、話し合いもなく、自分の勝手な思い込みで行う言動はいじめであること等を話しました。具体的には、「暴力」「悪口」「陰口（噂話）」「自分勝手な仲間外れ」について、詳細な事例も交えて講話を実施しました。

どの事案も大変心配ですが、特に、「暴力」について、「たたく」「パンチする」「ける」「わざとぶつかる」等を悪いことだと思っていないこと、「悪口」として、簡単に「きもい」「うざい」「きたない」「バカ」「へんだ」「入れない」「じゃま」等の言葉を、何も考えずに口から出てしまうこと、「陰口」として、「〜〜〜らしいよ」などの噂話や、勝手な自分の思い込みを本当のように話すことも許されないことだと話しました。「いじめ」は、「しない」「許さない」「見逃さない」ことを約束しました。

また、困った時は、すぐに先生に相談してほしいこと、先生方は236人全員を守ることも伝えました。

最後に、何より、一人一人には良さや素敵な所があり、それを認め合い、相手を思いやれる人になってほしい、問題をいじめではなく、話し合って納得のいく方法で解決してほしいと話しました。そんな、学級・学年・学校でありたいです。1年生から6年生まで真剣に話を聞いてくれたことが、大変嬉しかったです。

今後も、学校では、アンテナを高くし、いじめ防止の話が一過性の物で終わらないよう、全職員で子ども達の安心・安全・笑顔を守ってまいります。心配なことがあれば、遠慮なく学校にお話ください。そして、家庭でも大人が見本となり、ぜひ、相手を尊重する行動や言葉が当たり前である価値観を育成していきましょう。よろしくお願いいたします。（文責：校長）

《徒歩通学にご理解・ご協力を！》

風雨の中、頑張って歩いて登校してくる子ども達に逞しさを感じます。1, 2年生もちゃんとカッパを着用し歩いてきています。本校は、原則、徒歩通学です。保護者の皆様、「かわいそうだから」「子どもが送ってほしいというから」をちょっと我慢して、つらいことも逞しく生き抜いていけるよう、どうか、徒歩通学にご理解とご協力をお願いいたします。なお、本校は、昇降口到着めやすが8時5分です。送迎についても同じです。駐車場には8時到着をめやすにお願いします。

（体調不調や、やむを得ない事情がある場合は、送迎は大丈夫です。）

